（様式１）

**確認シート（在宅支援について）**

確認年月日（居宅訪問年月日）　　　年　　月　　日

利用者氏名

希望サービス　就労移行支援・就労継続支援Ａ型・就労継続支援Ｂ型

事業所名　　　　　　　　　　　　　　　確認者

在宅支援の理由　新型コロナウイルス感染症感染防止等の理由・利用者の特性や訓練内容等からの理由

在宅支援実施の妥当性及び在宅で働く力の指標を再確認するためのチェック項目です。

　　　下記の項目に該当しない場合は、通所利用を再検討いただくことがあります。

１．利用者の在宅支援の実施の妥当性判断項目

　□　「服薬管理」を決められたとおり事故で行える

　□　「体調不良時」に自己で適切に対処できる

　□　「自分の障害や疾病の理解」ができている

　□　「感情のコントロール」ができる（パニック等を起こさない）

　□　「意思表示」ができる

　□　「就労意欲」「作業意欲」がある

　□　「指示に従う」ことができ、手休めをしたり居眠りをしない

　□　「指示内容を理解できる」「ひらがなや簡単な漢字が読める」

２．在宅で働く力の指標（技能以外）

　①作業計画性

* 作業前に全体を見通し、計画を立てられる。作業量を見積もれる。
* 作業に優先順位をつけることができる。作業開始後、臨機応変に調整できる。

②自己管理力

* 時間（作業、私用）を自分で管理できる。
* ストレス耐性がある（気分転換ができる）。
* 自分の体調を把握できる。

③継続性

* 作業をムラなく、コンスタントにできる。
* 毎日の報告をＩＴツール等で的確に行うことができる。

④確実性

* 指示を確実に遂行できる（勘違いやケアレスミスがない）。

⑤問題解決力

* ネット等を活用し、自ら調査し、問題解決にのぞめる。
* 不明点は、必要に応じて適したツール、メディアで的確に聞ける。
* 指示がなくても自発的に動くことができる。

⑥改善力

* 周囲に提案する力を持つ。
* 自ら進んで新しい知識の習得ができる。

⑦社会性

* ビジネスマナー・社会常識に即した行動、言動がとれる。
* ケースバイケースで最適なツールを用い、周囲と上手くコミュニケーションがとれ、気持ちを伝えることができる。

⑧対応力

* レスポンスを素早く、望まれる方法でできる（メール、電話等）。
* 文章の表現を、的確にあるいは工夫を持ってできる。

⑨状況理解力

* その時の状況やメールでの支持等の意味を想像できる。理解できる。
* 自分以外のことにもアンテナをはれる。遠隔の相手の状況も思いやれる。

⑩規律性

* 作業期間を通して、課せられたルール・規定を順守することができる。

⑪楽天性

* 思うようにならなくともある程度のおおらかさを持つ。
* ひとりで、考え込まない。引きずらない。

上記項目のチェック結果も踏まえ、利用者に対する支援の具体的な内容を以下に記載してください。

必要に応じて実際の課題等別紙を添付してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 支援形態 | 在宅支援のみ　・　在宅支援と通所の併用 |
| 在宅支援の理由（利用者の希望、障害特性や作業内容等に起因する理由等を具体的に） |  |
| 在宅支援内容（作業や訓練内容を具体的に） |  |
| 在宅支援時の環境（作業や訓練場所、ネットワーク環境等）※場所は固定が望ましい |  |
| 在宅支援対応時間等 | 対応時間（　　：　　～　　：　　）対応曜日に○（月・火・水・木・金・土・日・祝） |
| 日中の連絡方法 | 電話・メール・PCやスマートフォンのWEB会議機能等・その他（　　　　） |
| 週１回の評価の方法（予定） | 職員の居宅訪問　・　利用者の通所　・　ICT機器の活用 |
| 月1回のアセスメントの方法（予定） | 職員の居宅訪問　・　利用者の通所　 |